

	越谷市の現在	越谷市をこんなまちにしたい(理想像)
越谷のよいところ	<p>住民性－近所の人達と気楽に付き合える。若い人が多い。 自然・地形－元荒川など自然が豊か。元荒川の桜がきれい。自然が多い。坂道がない。 交通－東京(中央)に近い。 市民活動－スポーツが盛ん。 公共施設－体育施設が多い。</p>	<p>自然－日本を代表する環境共生住宅地づくり。新しい森づくり。都市開発と自然の保護。レイクタウンの調整池を森の湖にしたい。水と緑豊かな文化・芸術のまち。森の大公園をつくる。 産業・雇用－環境・福祉産業の育成。産業の発展と誘致。商店街の再編成が必要。事務所の誘致を進める。働く場所を増やす。若い男性が働きたい企業を。働く女性が住みやすいまち 交通－各鉄道の駅にバスの乗り入れを整備してもらいたい。循環バスによって市内どこへでも行けるように。交通の整備。 市民活動と市民生活－市民活動の促進。貧富の差が少ない、みんなが楽しく暮らせるまち。病人の少ないまち、さらにスポーツレクリエーションの充実。 行政－全国一少ない市職員、市議会議員。</p>
越谷の悪いところ	<p>まだ少し「よそ者」的なところ。渋滞が多い。インフラがいまいち。歩道が不整備。河川が多いのに、汚くて有名。大きな公園がない。人口密度(集中)が高い。犯罪が多い。公共施設の予約システムが不十分。人間尊重に力を入れていない。大袋駅周辺の整備が遅れている。百貨店・映画館等がない。成長産業が少ない、商店街に活気がない。特産品がない(ダルマ、クワイのみ)。夏、暑いところで有名。ごみがきちんと捨てられていないところもある。芸術・音楽活動が広く市民に広がっていない。</p>	

	越谷市の現在	越谷市をこんなまちにしたい(理想像)
越谷のよさところ	<p>交通の便がよい。鉄道、バスが大変に利用しやすくなった。東京への通勤、通学、買い物等に便利。子育て支援が進んでいる。能楽堂がある。コミュニティセンターや市民会館が充実して、市民の文化的活動がしやすい環境にある。大吉調節池付近の景観がいい。市役所、中央市民会館付近の景観がいい。他に干渉しない。大きな災害が少ない。肌のぬくもりが感じられる。どこか土の匂いがする。家を留守にするとき、近所に気軽に声をかけられる。</p>	
越谷の悪さところ	<p>町として誇れるものがない(「温故知新・こしがや」を提案したい)。13 地区センターの活用が不十分。河原に桜がない(自転車とランニング優先)。水の都でなぜ暑い(気温 40 度を超えて評判に)。救急医療の充実が望まれている。文化的施設が少ない。水害対策が不十分(まだ、台風時に水が出ることもある)。市役所職員の専門知識が不足している。団塊の世代の男性が地域の活動に無関心の人が多い。</p>	<p>おじさんのいられる場所をつくる。能楽堂を中心として、文化の中心をつくる。文化施設を充実させて、子ども・大人の教育に役立てる。小学生の授業に能か狂言を必修にして、子どもの一生の糧にする。さいたま市に対抗して東さいたま市をつくる(越谷市・草加市・川口市・鳩ヶ谷市)。 理念的—高齢者が安心して暮らせるまち。熟年者が生きがいを感じる楽しいまち。若い人が子育てしやすいまち。協働・共創・共助のこしがや。安心して暮らせるまち(防犯・防災)。子どもたちを大事にできるまち。共生・協働都市(人と自然、人と人)。過去から学び、未来への展望を広げていくことのできるまち。新旧の住民が調和できるまち。</p>

	越谷市の現在	越谷市をこんなまちにしたい(理想像)
越谷のよいところ	<p>自然が多い。公園が多い。緑(屋敷林)が多い。川が多い。意外と田んぼが多い。中核都市。しらこぼとシンボルが市民にいきとどいている。交通の利便性がよい。鉄道の交差点。駅が多い。東京に近い。地域を自治会に統一。市民参加が進んでいる。政策に環境対策。高齢者施設が多い。大きなデパートがある。サークルが多い。テーマグループが多い。地域力がある。都市化が進んでいる。人口が伸びている。歴史がある(50年)。</p>	<p>ふるさとのようなまち。特徴を出す。伝統を生かす。子どもも年配も集まるまち。あたたかい住民関係。死ぬまで住みたいまち。ごみのないきれいなまち。住民自治を考える市民。都心に近いを生かしたい。若者が参加できるまち。公共の施設を計画的に建設。調整区域に公園をつくる。開発をやめ原形の整備に重点。参画できるまち。</p>
越谷の悪いところ	<p>地震対策が遅れている。住宅地の値上がりが急である。道路が未整備。交通が不便。水害が多い(多かった)。自然が減っている。特徴がない。植木、歩道のメンテナンスが悪い。市・自治会・住民、共通の方向性があるようでない。高層住宅が増えている。古臭いイメージ。犯罪が多い。越谷駅周辺がさびしい。治安が悪い。観光地が少ない。若い人の参加が少ない。地域住民の隣人意識が希薄している。高齢者の声が行政に届きにくい。高齢者が多く、若い人が少ない。文化人が少ない。</p>	

	越谷市の現在	越谷市をこんなまちにしたい(理想像)
越谷のよいところ	<p>ごみの分別が少ない。公共の施設が多い。道路が整備されている。交通の便利なまち。自然の景観(街と川沼の調和)。公共施設が立派でキレイ。乳幼児の子育てがしやすい。地域の人々の交流が盛ん。団体の活動が盛ん。市民ぐるみのお祝い事。市民会館前の公衆トイレがきれい。医療機関が多い(安心)。地域(地縁団体)の活動が活発。市民参画に行政は熱心。印象的には年々市政がよくなっている。</p>	
越谷の悪いところ	<p>公園が少ない。千間台東は樹林が少ないため夏は非常に暑い。他市との際が行政に行き届いていない(越谷市と他市との境に住んでいる市民に行政の手が行き届いていない)。歩行者に不便、危険。近くにスーパーがなく不便。安心して子育てできる環境が必要。明るい街路。道路の工事が多すぎる。まだまだ“女性は専業主婦で家にいるもの”と思っている人の割合が多い。市立病院等へのアクセスが不便。何でも2番目ということを恥ずかしがっている。ごみの出し方が悪い(市民の自覚不足)。新旧住民のコミュニケーションがとりにくい。母親の住民エゴが目につく。情報がよくわからない。施策等を策定する際、当事者達がわからない。行政依存心が強い。</p>	<p>高齢者が安心して住めるまち。安全で安心なまち。子どもたちが健全で知的に成長できる環境のまちであること。年をとってもずっと住み続けられるまち。せんげん台駅から蒲生駅周辺に屋根をつける。市民参画の拡充。全病院に手話通訳者を設置。市民負担率の少ないまち。情報・制度がわかりやすいまち。バリアフリーは車椅子利用者だけでなく、様々な身体的ハンデを抱えている人に向けて。“みんなちがってみんないい”いろいろな状況に置かれている人それぞれの立場を認め合い、話し合い、助け合うまち。様々な人たちが互いの存在をわかる。若者と高齢者の交流が盛んなまち。自分の言いたいことが言え、他人の言いたいことも聞けるまち。ふれあい豊かなまち。市長本人との話し合いが欲しい。災害に強いまち。自然環境を大切にする。自然環境を生かしたまちづくり。清潔なまち。</p>